

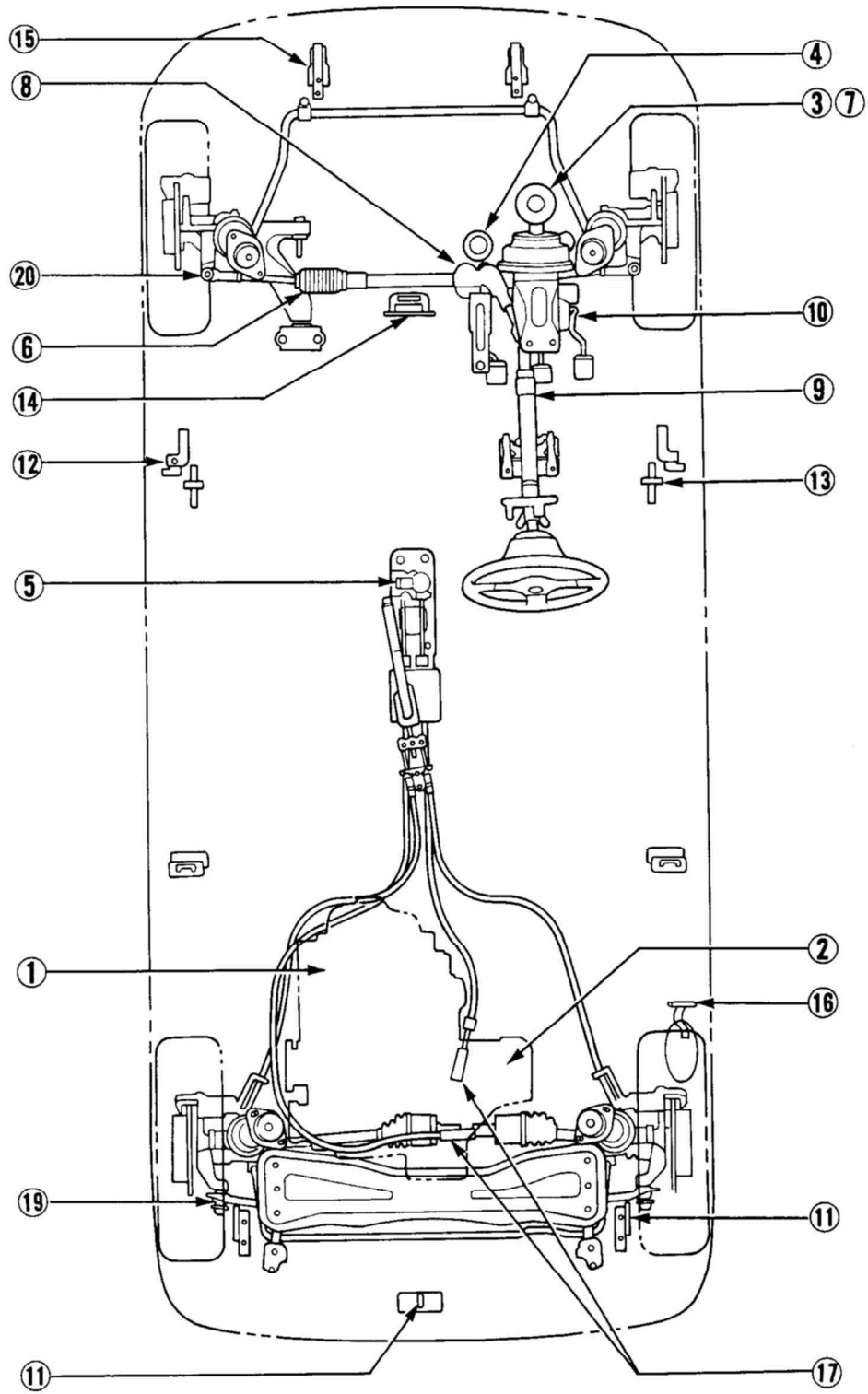
点検整備

給油脂図	4-2
点検整備方式	4-4

給油脂図

注意 給油、給脂箇所および油脂名の詳細については、各章の展開図、分解、点検および組立て等の手順を参照すること。

No.	給油箇所名	油脂名	メーカー名	備考
①	エンジン	推奨 エンジン オイル	ホンダ純正オイル ウルト ラU(4サイクル4輪車用 API SE級、10W-30)また はホンダ純正オイル ウル トラGX(4サイクル4輪車 用、API SF級、10W-30)	
②	トランスミッション	推奨 トランスミッション オイル	ホンダ純正オイル ウルト ラU(4サイクル4輪車用、 API SE級10W-30)または ホンダ純正オイル ウルト ラMTF	
③	ブレーキ ライン	指定 ブレーキ フルード	ホンダ 純正ブレーキ フルード DOT3またはDOT4	
④	クラッチ ライン	指定 ブレーキ フルード	ホンダ純正ブレーキ フルード DOT 3	
⑤	チェンジ レバー ボール	グリース	FS-44MA	ダウ コーニング
⑥	タイロッド ダスト シール	グリース	クリューバ シンセン プロ	NOK
⑦	ブレーキ マスタ パワー プッシュ ロッ ド(プッシュ ロッド ヨーク)	グリース	ダイヤモンド マルチ パー パス ダフニ オートレックスA	三 菱 石 油 出 光 興 産
⑧	ステアリング ギヤ ボックス			
⑨	コラム ハンガー プッシュ			
⑩	ペダル摺動部			
⑪	トランク ヒンジおよびロック			
⑫	ドア ヒンジ(アッパ、ロア)			
⑬	ドア チェッカ、チェッカ ピン			
⑭	ボンネット ロックおよびストライカ			
⑮	ボンネット ヒンジ			
⑯	フューエル フィラ リッド			
⑰	チェンジ ケーブル エンド			
⑱	クラッチ レリーズ アーム			
⑲	サスペンション ボール ジョイント			
⑳	ステアリング ボール ジョイント			



点検整備方式

- 1) 運行前点検項目の判定基準は自動車使用者に周知徹底を図る。
- 2) 「●」印は法規で義務付けられた点検時期を示し、「○」印はその外メーカーで推奨することを示す。
- 3) 「×」印は該当しないことを示す。
- 4) 「☆」印は保安部品の定期交換を示す。その交換時期は一般走行する不特定多数の車を対象に定めてある。従って著しく走行条件の異なるものは、これに準拠して交換する。
- 5) 「※」印は初期点検のみを示す。(※1は1か月又は1,000km、※5は6か月又は5,000km)
- 6) 「〔 〕」内は第1回目の交換時期を示す。
- 7) 判定基準欄でいう「高速」又は「高速走行時」とは、80km/h以上の速度で走行する場合をいう。

点検整備項目		点検整備時期						判定基準	備考		
		運 行 前	自家用			事業用等				単 位 (千 km)	
			6 か 月 毎	12 か 月 毎	24 か 月 毎	1 か 月 毎	3 か 月 毎				12 か 月 毎
か じ 取 り 装 置	ハンド ル	遊び、緩み及びがた		●	●		●	●	遊びは直進状態にてホイール外周で M: 0~10 mm	M: マニュアル を示す	
		操作具台		●	●		●	●			
	ギヤ・ ボッ クス	油漏れ			●		●	●			
		取付けの緩み			●		●	●			
		軸受部のがた						●			
		ギヤのバックラッシュ						●		ラック・ ピニオン式	
	ロッ ド 及 び ア ーム 類	ボール・ジョイントのダスト・ ブーツの亀裂及び損傷		●	●		●	●			
		緩み、がた及び損傷		●	●		●	●			
		連結部の摩擦及び取付状態						●			
		ナックル・アームの亀裂及び ナックルとの取付状態						●			
	ナッ クル	連結部のがた			●		●	●			
		ナックルとフロント・アクスル とのすき間						●		×	
	か じ 取 り 車 輪	ホイール・アライメント			●		●		トーイン -3~3 mm キャンバ -0°30'±1° キャスタ 7°20'±1°		
		左右の回転角度			●		●		内側 36°30'±2° 外側(参考) 33°00'		
パワ ー・ ステ ア リ ン グ 装 置	ベルトの緩み及び損傷		●	●	●	●	●		×		
	油漏れ及び油量		●	●	●	●	●	◇	×		

点検整備方式

点検整備項目		点検整備時期						判定基準	備考									
		運 行 前	自家用		事業用等		単 位 (千 km)											
			6 か 月 毎	12 か 月 毎	24 か 月 毎	1 か 月 毎				3 か 月 毎	12 か 月 毎							
制 動 装 置	ア リ ン グ 装 置 ・ ス テ ア ・ パ ワ ー								×									
	取付けの緩み			●		●	●											
	ブ レ ー キ ・ ペ ダ ル	遊び及び踏み込んだときの床板とのすき間	●	●	●	●	●	●	※5	◇遊び 1~10mm 踏力20kgで踏込時、床板とのすき間 113mm以上								
		踏みしろ及びきき具合	●															
	ブレーキのきき具合		●	●	●	●	●	●	※1 ※5	◇ <table border="1"> <tr> <th colspan="2">制動力</th> </tr> <tr> <td>後輪和</td> <td>軸重の20%以上</td> </tr> <tr> <td>各輪左右差</td> <td>軸重の8%以下</td> </tr> <tr> <td>総和</td> <td>検査時車両重量の50%以上</td> </tr> </table> 注) 前輪の全ての車輪がロックし、計測困難な場合は、その状態で総和に対し適合するとみなす。	制動力		後輪和	軸重の20%以上	各輪左右差	軸重の8%以下	総和	検査時車両重量の50%以上
	制動力																	
	後輪和	軸重の20%以上																
	各輪左右差	軸重の8%以下																
	総和	検査時車両重量の50%以上																
	駐 車 ブ レ ー キ ・ レ バ ー	引きしろ	●	●	●	●	●	●	※1 ※5	操作力 20kgのとき 引きしろ 5~9ノッチ 全ストローク 19ノッチ								
ブレーキのきき具合			●	●	●	●	●		制動力 検査時車両重量の20%以上 操作力 50kg									
	ラチェット部の摩耗及び損傷						●											
ロ ッ ド 及 び	ケーブル類			●		●	●											
ホ ー ス 及	びパイプ		●	●	●	●	●	※1 ※5										
リ ザ ー バ	液量	●	●	●	●	●	●	※5	◇液面レベル 上限~下限間にあること									
マ イ ス タ ・ シ リ ン ダ ・ ホ 及	びディスク・キャリパ		●	●														
	ホイール・シリンダ及びディスク・キャリパの液漏れ		●	●														
	機能、摩耗及び損傷			●			●											

点検整備項目		点検整備時期							判定基準	備考																								
		運 行 前	自家用			事業用等					単 位 (千 km)																							
			6 か 月 毎	12 か 月 毎	24 か 月 毎	1 か 月 毎	3 か 月 毎	12 か 月 毎																										
制 動 装 置	倍力装置																																	
	機能																																	
	油密及び気密																																	
	ブレーキ・ドラム及	ドラムとライニングとのすき間		●	●	●	●	●	◇	×																								
		シューの摺動部分及びライニングの摩耗		●	●		●	●	◇	×																								
		ドラムの摩耗及び損傷			●			●		×																								
	ブレーキ・パッド	バック・プレートの状態						●		×																								
		ディスクとパッドとのすき間		●	●		●	●																										
		パッドの摩耗		●	●		●	●	標準厚さ 前輪 10.0 mm 後輪 7.5 mm 使用限度 前輪 1.6 mm 後輪 1.6 mm																									
	ディスクの摩耗及び損傷			●			●	標準厚さ 前輪 10.0 mm 後輪 9.0 mm 使用限度 前輪 8.0 mm 後輪 8.0 mm																										
走 行 装 置	フロント・アクスル									×																								
	リア・ハウジング・アクスル									×																								
ホイール	タイヤの空気圧	●	●	●	●	●	●	◇ ※5 <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">タイヤ仕様</th> <th colspan="2">前輪</th> <th colspan="2">後輪</th> </tr> <tr> <th>一般</th> <th>高速</th> <th>一般</th> <th>高速</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>155/65R13 73H</td> <td>1.8</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> </tr> <tr> <td>165/60R14 74H</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>2.0</td> <td>←</td> </tr> <tr> <td>[T115/70 D14]</td> <td>4.2</td> <td>←</td> <td>←</td> <td>←</td> </tr> </tbody> </table> [] 内は、応急用タイヤを示す。	タイヤ仕様	前輪		後輪		一般	高速	一般	高速	155/65R13 73H	1.8	←	←	←	165/60R14 74H	←	←	2.0	←	[T115/70 D14]	4.2	←	←	←		
	タイヤ仕様	前輪		後輪																														
一般		高速	一般	高速																														
155/65R13 73H	1.8	←	←	←																														
165/60R14 74H	←	←	2.0	←																														
[T115/70 D14]	4.2	←	←	←																														

点検整備方式

点検整備項目		点検整備時期							判定基準	備考
		運 行 前	自家用			事業用等		単 位 (千 km)		
			6 か 月 毎	12 か 月 毎	24 か 月 毎	1 か 月 毎	3 か 月 毎			
走行装置	タイヤの亀裂及び損傷	●	●	●	●	●	●	●	※5	
	タイヤの溝の深さ及び異状な摩耗	●	●	●	●	●	●	●	※5	残溝 1.6 mmまで 高速走行時 1.6 mmまで
	タイヤの金属片、石その他の異物	●	●	●	●	●	●	●	※5	
	ホイール・ナット及びホイール・ボルトの緩み			●	●	●	●	●		◇ホイール・ナットの締付けトルク 10.0 ~ 12.0 kg-m
	リム及びホイール・ディスクの損傷			●						
	リム、サイド・リング及びホイール・ディスクの損傷				●	●	●			
	フロント・ホイール・ベアリングのがた			●		●	●			◇アクスル中心部における軸方向の遊び 0 ~ 0.05 mm
リヤ・ホイール・ベアリングのがた			●			●			◇アクスル中心部における軸方向の遊び 0 ~ 0.05 mm	
緩衝装置	シャシばね			●		●	●			
	損傷			●		●	●			
	左右のたわみの不同						●			
	取付部の緩み及び損傷			●						
	取付部(ブラケット部を除く。)の緩み及び損傷					●	●			×
	連結部のがた			●			●			×
置	リーフのずれ						●			×
	ブラケットの取付けの緩み及び損傷						●			
	サスペンション・アーム			●			●			
	連結部のがた及びアームの損傷			●			●			

点検整備項目		点検整備時期						判定基準	備考
		自家用			事業用等				
		運 行 前	6 か 月 毎	12 か 月 毎	24 か 月 毎	1 か 月 毎	3 か 月 毎		
緩衝装置	アブソーバ			●	●	●			
	ショック			●	●	●			
ク ラ ッ チ	ペダルの遊び及び切れたときの床板とのすき間	●	●	●	●	●	●	※5	遊び 13 ~ 23mm 切れたときの床板とのすき間 74 mm 以上
	作 用		●	●	●	●	●		
	液 量		●	●		●	●		◇液面レベル 上限~下限間にあること
ト ミ ラ ッ シ ヨ ン	油漏れ及び油量		●	●	●	●	●		◇液面レベル フィラボルト穴下面と同一レベル にあること
	操作機構のがた			●			●		
伝 達 装 置	連結部の緩み		●	●		●	●		×
	自在継手部のダスト・ブーツの亀裂及び損傷		●	●		●	●		
	スプライン部のがた			●			●		
	自在継手部のがた			●			●		
	プロベラ・シャフトの振れ						●		×
	センター・ベアリングのがた			●			●		×
	アクスル・シャフトのねじれ及び亀裂						●		
デ フ ア レ	油漏れ及び油量		●	●	●	●	●		◇
電 気 装 置	点火プラグの状態		●	●	●	●	●		プラグ・ギャップ 1.0 ~ 1.1 mm
	点火時期		●	●	●	●	●	※1	◇ (単位 : BTDC %rpm) 20 ± 2 / 1200

点検整備方式

点検整備項目		点検整備時期							判定基準	備考	
		運 行 前	自家用			事業用等					単 位 (千 km)
			6 か 月 毎	12 か 月 毎	24 か 月 毎	1 か 月 毎	3 か 月 毎	12 か 月 毎			
電 気 装 置	点 火 装 置		●	●	●	●	●		無接点式		
	断続器の状態			●	●	●	●	●			
	ディストリビュータのキャップの状態		●	●		●	●				
気 装 置	進角装置(遅角機構を含む。)の機能		●	●		●	●				
	液量		●	●	●	●	●	※5	◇液面レベル 上限~下限間にあること		
	液の比重			●	●		●	●	液温20°Cの時 比重 1.270 ~ 1.290		
電 気 配 線	ターミナル部の接続状態		●	●		●	●				
	接続部の緩み及び損傷			●	●	●	●				
原 動 機	かかり具合及び異音		●	●	●	●	●				
	低速及び加速の状態		●	●	●	●	●	※1	◇アイドル回転数(単位: rpm) 1200		
	排気の状態		●	●	●	●	●				
	エア・クリーナ・エレメントの状態		●	●	●	●	●				
	シリンダ・ヘッド及びマニホールド各部の締付状態						●		締付けトルク シリンダ・ヘッド(冷間) 6.2 ~ 6.8 kg・m マニホールド 吸気 2.0 ~ 2.4 kg・m 排気 2.4 ~ 2.8 kg・m		

点検整備項目		点検整備時期						単位 (千km)	判定基準	備考	
		運 行 前	自家用			事業用等					
			6 か 月 毎	12 か 月 毎	24 か 月 毎	1 か 月 毎	3 か 月 毎				12 か 月 毎
本 体	圧縮圧力						●	◇ (単位: kg/cm ² ·rpm)			
	弁すき間			●			●	(冷間) 吸気 0.13~0.17 mm 排気 0.23~0.27 mm			
潤 滑 装 置	油の汚れ及び量		●	●	●	●	●	※5 ◇ レベルゲージ 上限~下限間にあること			
	油漏れ			●	●	●	●				
	オイルの量	●									
燃 料 装 置	燃料漏れ			●	●	●	●	※1			
	キャブレタのリンク機構の状態				●		●		スロットルポ デーを示す		
	スロットル・バルブ及び チョーク・バルブの状態				●		●		同 上		
	噴射ノズルの噴射圧力及び噴 霧状態				●		●		×		
	噴射時期及び噴射量				●		●	◇	×		
	供給ポンプの機能						●		×		
	燃料の量	●									
冷 却 装 置	水 量	●	●	●	●	●	●	※5 ◇ エクспанション(リザーバ) タンク 上限~下限間にあること			

点検整備方式

点検整備項目		点検整備時期							判定基準	備考	
		運 行 前	自家用			事業用等					単 位 (千 km)
			6 か 月 毎	12 か 月 毎	24 か 月 毎	1 か 月 毎	3 か 月 毎	12 か 月 毎			
原 動 機	冷	ファン・ベルトの緩み及び損傷	●	●	●	●	●	●	※5	ベルトの中央部を約10kgの力で押し たときのたわみ 6.5～8mm	オルタネータ ベルトを示す
	却	水漏れ	●		●	●		●	●		
	置	ラジエータ・キャップの機能				●		●	●	開弁圧 0.75～1.05 kg/cm ²	エキスパンション(リザーバ)タ ンクキャップを 示す
ばい煙、 悪臭のあるガス、 有害なガス等の 発散防止装置	ガス 還元 装置	メーターリング・バルブの状態				●			●		×
		配管の損傷				●			●		
	燃 料 蒸 発 ガ ス	排出抑制装置				●			●		
		チャコール・キャニスタの詰 まり及び損傷				●			●		
		チェック・バルブの機能				●			●		
	一 酸 化 炭 素 等	触媒反応方式等排出ガス減少 装置の取付けの緩み及び損傷			●	●		●	●		
		二次空気供給装置の機能			●	●		●	●		×
		排気ガス再循環装置の機能			●	●		●	●		×
		減速時排気ガス減少装置の機 能			●	●		●	●	4～15頁に記載	
	熱 害 防 止 装 置	配管の損傷及び取付状態			●	●		●	●		
遮熱板の取付けの緩み及び損 傷				●	●		●	●			
灯 火 装 置	指 示 器 及 び 方 向	作 用	●	●	●	●	●	●	※5		
		点滅具合、汚れ及び損傷	●								
警 音 器 、 窓 拭 器	洗 浄 液 噴 射 装 置 、 施 錠 装 置	作 用			●	●		●	●		
後 写 鏡 及 び 反 射 鏡	反 射 鏡	写影の状態	●								後写鏡のみ
反 射 器 及 び 自 動 車 登 録 車 向 番 号 標 、 番 号 標 又 は 自 動 車 登 録	反 射 器 及 び 自 動 車 登 録	汚れ及び損傷	●								

点検整備項目		点検整備時期							判定基準	備考	
		運 行 前	自家用			事業用等					単 位 (千 km)
			6 か 月 毎	12 か 月 毎	24 か 月 毎	1 か 月 毎	3 か 月 毎	12 か 月 毎			
計器	作用		●	●		●	●				
エグゾースト ・マフラー 及びパイプ	取付けの緩み及び損傷		●	●		●	●				
	マフラーの機能			●			●				
高圧ガスを燃料と する燃料装置等	導管及び継手部のガス漏れ及び損傷		●	●		●	●			×	
	ペーパーライザのタール		●	●		●	●			×	
	ガス容器取付部の緩み及び損傷			●			●			×	
	座席のある車室との間の気密			●			●			×	
車枠及び車体	ドア・ロックの機能			●		●	●				
	緩み及び損傷			●		●	●				
座席	座席ベルトの状態			●			●				
前日の運行において 異状が認められた箇所	当該箇所に異状がない事を確認	●									
その他	シャシ各部の給油脂状態		●	●	●	●	●				

点検整備方式

点検整備項目		点検整備時期										点検方法及び判定基準	備考
		運 行 前	自家用			事業用等			走行 キロ （千 km）	毎 の 整 備 時 期 （年 毎）	交 換 時 期 （年 毎）		
			6 か 月 毎	12 か 月 毎	24 か 月 毎	1 か 月 毎	3 か 月 毎	12 か 月 毎					
制	ホ ー ス 及 び バ イ ブ	1. ブレーキ・ホースの交換										☆ 4 (5) (4)	()は第1回目 ()は事業用等
	リ ザ ー バ	1. ブレーキ液の交換										1	
動 装	マ イ ビ ス タ ル ・ シ リ ン ダ ・ シ ン ク ・ リ ン ダ ・ キ ャ リ バ ・ ホ 及 び バ	1. マスタ・シリンダ、ホイール・シリンダのカップ、ダストシール及びディスク・キャリバのゴム部品の交換										☆ 2 (3) (2)	()は第1回目 ()は事業用等
	倍 力 装 置	1. ゴム部品の交換										☆ 4 (5) (4)	()は第1回目 ()は事業用等
置		2. パキューム・チューブ、チェックバルブの交換										☆ 4 (5) (4)	()は第1回目 ()は事業用等
	動 力 伝 達 装 置	ト ラ ン ス ・ ミ ツ シ ョ ン	1. オイルの交換							40			
原	本 体	1. エアクリーナエレメントの交換								40			
		2. タイミングベルトの交換								100			
機	潤 滑 装 置	1. オイルの交換								10	0.5		
		2. オイル・クリーナの交換								20			
機	燃 料 装 置	1. 燃料フィルタの交換								40			
		2. 燃料ホースの交換										☆ 4 (5) (4)	()は第1回目 ()は事業用等
機	冷 却 装 置	1. 冷却水の交換									2 (3) (2)	()は第1回目 ()は事業用等	

点 検 整 備 項 目	点 検 方 法 及 び 判 定 基 準
<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; padding-right: 5px;">ばい煙悪臭のあるガス、有害なガス等の発散防止装置</div> <div style="flex-grow: 1;"> <p style="text-align: center;">一 酸 化 炭 素 等 発 散 防 止 装 置</p> <p>減速時排気ガス減少装置の機能</p> <p>1. 減速燃料カット装置の機能</p> </div> </div>	<p>① エンジンを暖機し、アイドリング回転数が一定になることを確認する。</p> <p>② エンジン回転数を約 4000 rpmまで上げてインジェクタの作動音(カチカチ音)がすることを確認する。</p> <p>③ アクセルペダルをはなした時、インジェクタの作動音が一時止まることを確認する。</p>

